

子どものつばやき

第31回

令和6年度(2024年度)



次代になう子ども達が、生き生きと、健やかに育ち、力を合わせて明るい未来をつくりあげてくれることを誰もが望んでいます。

しかし、戦争や貧困など世界的な問題や、不適切保育や虐待など子どもの人権が尊重されていないと感じる厳しい状況があります。

「子どもの権利条約」にみられるように、子どもが一人の人間として尊ばれ、よりよい環境の中で成長・発達できるような仕組みを作ることが重要な課題となっています。

豊中市では、平成25年(2013年)4月に「豊中市子ども健やか育み条例」を制定し、子ども一人一人が健やかに育ち子どもや子育て家庭に関わる全ての人がつながり、社会全体で子どもを育む地域社会の実現をめざしています。

そして、就学前施設では「豊中市人権保育基本方針」にもとづき、一人一人の子どもの人権を大切にすることを基本に、すべての子どもに豊かな感性を育てお互いを大切にすることを培い、人権尊重の基礎的な

資質を養うことをめざした人権教育・保育をすすめています。「子どものつばやき」は、人権教育・保育の中で大切にできた取り組みの一つです。

子ども達は、日ごろから友達や大人と関わって遊び、生活する中で“うれしいこと”“悲しいこと”“驚いたこと”“腹が立つこと”“求めたり望んだりしていること”など様々なことを感じ、表現しています。

このような子ども達の「思い」を表現したものを言葉だけでなく、しぐさ・動き・表情などを含めて、「つばやき」としてとらえています。



おいで おいで～

1歳児

ホールから保育室への移動の時

りな (ハイハイして止まっている)
保育者 りなちゃん おいで～
なつ・みみ (じーっと見つめている)
みなみ (手招きして) おいで～
りな (友達に呼ばれるが、その場にいる)
なつ・みみ (りなを迎えに行き、おいでおいで～と手招きしたり、りなの体を触ったり、一緒に行こうと誘うしぐさをする)
1歳児なりに友達に対して、どうにか関わろうとしていました。

ピンク好きでもいいねんで!

3歳児

ままごと遊びをしていた時、ピンク色のエプロンをつけてお父さん役をしていた けんたに対して

ななほ おとうさんやのに ピンクつけてる!
ピンクは おんなのこやで
けんた いいねん!
えり ピンクはおんなのこやし!
けんた けんたは ピンクがすきやねん!
ななほ ピンクはおんなのこ!
ひなこ ピンクがすきでもいいねんで!
ひーちゃんのパパもピンクのふく もってるもん



けんた けんたのパパももってる! いっしょやな!
〇〇色は女の子、〇〇色は男の子、というイメージはまだまだ子ども達にも残っているんだなと感じました。その中でも「どんな色が好きでもいいんだよ」と友達に言ってあげられる子がいたことを嬉しく思いました。

わたしだって!!

0歳児

ゆい (数歩 歩く)
保育者 すご～い
めい あ～!!
(保育者を見て両手を伸ばし、“手を持って!!”と要求を出す。)
(手を持ってもらい、保育者を見ながら得意げに歩く。)



きんぎょさん ねんね 1歳児

玄関で金魚を見ていたあきらが、水そうをバンバンとたたいてたところ…

あきら あっ (動かない金魚に気が付いて指をさす)
保育者 動かないね ねんねしているのかなあ
あきら しー (指で「静かに」のポーズをする)



(手を顔にあてて「ねんね」のポーズをし、水そうの上から金魚をやさしくなでていた)



なんでかな～

3歳児

蛇口が3つある保育室の手洗い場で、手を洗っている時

みか せんせ～ おみずが あったかくなってる
なんでかな
ことみ あっ ここも あったかい～
ともか こっちは つめたいで
みか (ともかの蛇口のところへ行き)
ほんとや～ つめたい なんでかな～
ともか ここと ここは おふろで
ここは プールのおみずかもしれん
ことみ・みか すごっ!

わすれたら あかん!

5歳児

8月6日。
原子爆弾が投下されたことについてクラスで話をします。みんな話し合った内容をまとめて、ホワイトボードに掲示していた。お迎えに来た母に向かって

りん ままー みてー
りんの母 なに～?
りん (ホワイトボードを指さして)
きょう げんぱくおちたんやで!
もう ぜったいしたらあかんねんで!
りんたちも わすれたらあかんから
ママもわすれたらあかんで



大切なことを保護者に話す姿と平和への思いが感じられた場面でした。

いっしょに しょ 3歳児

運動会の予行練習の時に、緊張や戸惑いを感じていた あき

保育者 あきちゃん 緊張するね サーキットどうする？

あき (黙って下を向いている)

なみ あきちゃん いっしょに しょ

あき (下を向いている)

なみ いっしょにしたら たのしいよ！

(あきに手を差し出す)

あき (手をつないで参加する)

保育者 なみちゃんと できたね！

あき たのしかった！



普段から、同じグループでいっしょに遊んでいる友達と誘いかけて、活動に参加することができました。

なんで しょうくんは

歩かれへんの？ 4歳児

自立歩行が困難な しょう。お迎えに来た しょうの保護者に
なおが質問している場面。

なお なあなあ しょうくんって なんさいなん？

しょうの母 4歳だよ

なお このこ(しょうの弟)は なんさい？

しょうの母 2歳だよ

なお ふうん なんでしょうくんはあるかれへんの？

しょうの母 うーん もうちょっとしたら歩けるようになるかなあ

なお ……

保育者 でもしょうくんは ごろごろして

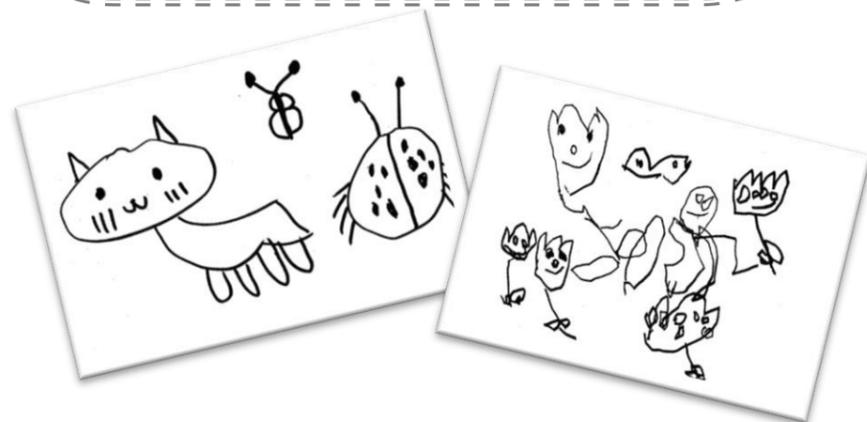
自分の好きなところいけるやん！

なお あ！しょうくんさ おひるねのとき いっつも

いっぺいくんのふとんに ころがっていくねん！

しょうの母 あはは！そうなんだ！

(みんなで笑う)



「つぶやき」が私たちに教えてくれること

子どもは、大人の表情や関わり方を見て、モデルにしている

*つぶやきを読んでも、人を軽く見るような関わりも、「自分の思いを弱みも失敗も子どもに見せながら相手のことを大事にして関わっていること」も、子どもはしっかり見ているのだということがわかります。大人が、子どもを(人を)尊敬して関わっていることが、子どもが人を尊敬して関わることにつながっています。

自分らしくありたいと思っている子どもの気持ちを大事にできていますか？

*子どもは、守るべき守られるべきものではありませんが、子ども自身も自分の思いを持っていて、伝えたいと思っています。その思いを、大人がどれだけ尊重しているのかが問題だと思っています。子どもも、はじめは、『違うこと』はマイナスイメージとしてとらえています。遊びの中で認め合い、関係が変わってきます。それを、保育者は喜びととらえています。この子どものつぶやきを保育者が大事にすることで、一人一人が『自分らしくあっていいんだ！』

とってくれたらいいなと思っています。



しんぱい ごむよう！ 2歳児

お昼寝しようと まさきがコット(午睡用ベット)に横になっていた際、隣の1歳児保育室から泣き声が聞こえてきた時のこと

まさき だれか ないてる～

保育者 本当だね 大丈夫かな・・・

まさき しんぱいごむよう！
(絵本に出てくるフレーズ)

保育者 そうだね！

友達を心配している自分の気持ちを日頃よく読んでいるお気に入りの絵本の言葉で表現。

泣いている子どもと、そのことを心配する保育者への励ましの言葉にも感じました。

ちっちゃくても つよい

4歳児

絵本『おおきなかぶ』の読み聞かせの中で

みちこ ねずみ めっちゃつよいねんで～

ゆき ねずみ ちっちゃいからよわいで

でっかいのが つよいんやで

みちこ ちがうで ちっちゃいねずみも つよいで

ゆき ちっちゃいねずみ…ちっちゃいねずみ…

(何回も小さい声でつぶやきながら絵本を見ている)

みちこ (ねずみが来て かぶが抜けるのを見て)

ほら つよいやろ！

ゆき ほんまや つよかった

みちこ そやろ



こっちやで ここにきて 5歳児

園庭で保育者がホースで水をまき、そのまわりで子ども達が遊んでいた時

まなみ あっ！にじ にじあったで

はるま どこ？

まなみ ないやん

まなみ こっちやで まなみのところにきて

まなみ あっ みえた はるまくん ここにきて

まなみ みななのところに

はるま あった！みえたで！にじあった！

まなみ あったやろ

はるま うん まなみちゃん おしえてくれてありがとう



ここに紹介している「つぶやき」は、

「令和6年度(2024年度)子どものつぶやき展」

で展示している「つぶやき」の一部です。